

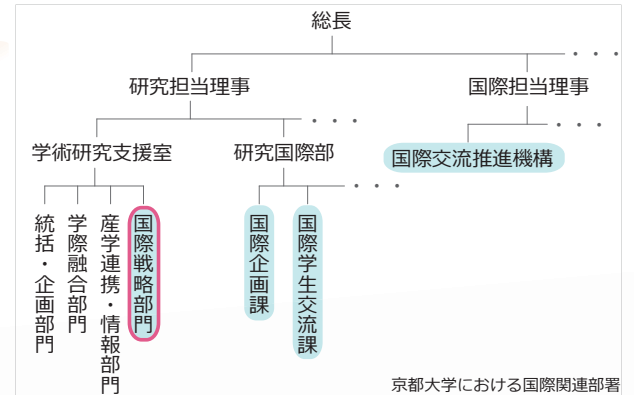
京都大学学術研究支援室における 国際共同研究の支援

鮎川 慧 (京都大学 学術研究支援室 国際戦略部門)

KURA - 京都大学の舵取りとして

京都大学の URA 室 (KURA) は、研究の大海原を乗り切るべく、「統括・企画」「産学連携・情報」「学際融合」「国際戦略」の4部門から、大学の研究力強化に取り組んでいます。それぞれの部門に、総合大学ならではの幅広い研究分野の研究者に合わせ、多様なバックグラウンドを持つ専門家が揃っています。→詳しくは P04 で杉山 URA が発表中！

国際研究の海を渡る舵取りは国際戦略部門。メンバー 8 人は、大学本部の国際関連部署と協同して、**国際型共同研究の支援と、大学の国際戦略“2x2020”の推進**を行っています。



京都大学発 知の国際貢献

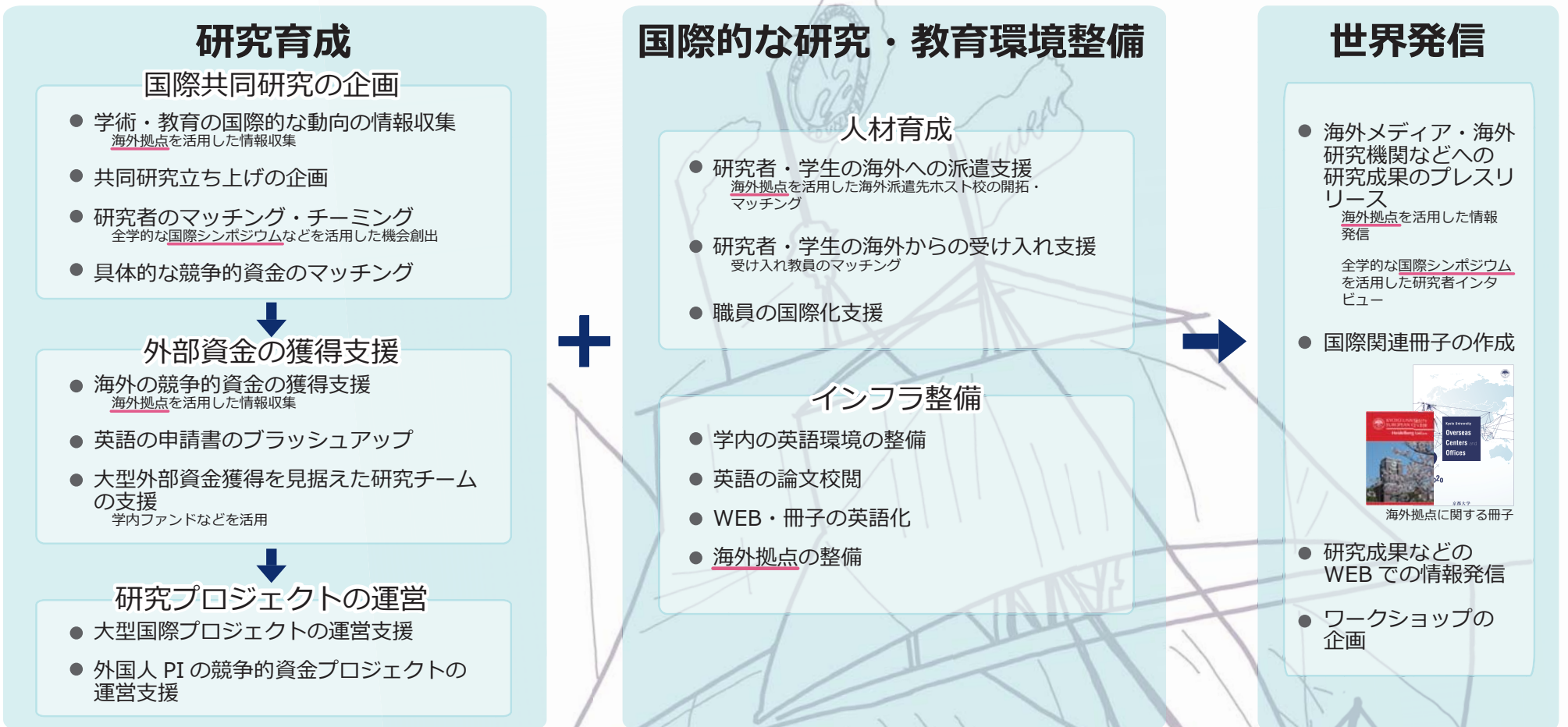
国際戦略部門 URA は、国際共同研究の創出をめざし、研究の動向の情報収集、研究の企画、外部資金の獲得支援、運営支援を行っています。

同時に、真に世界に開けた研究大学になるために、**国際共同研究の創出とともに、研究・教育の環境整備から研究成果の世界発信までを一体的に手掛ける仕組みづくり**を進めています。

京都大学学の国際戦略 2x by 2020
世界に卓越した知の創造を行う大学として一層発展し、真のトップレベル大学としての地位を確立するために策定された。

- ・地域社会の調和ある共存に資する国際貢献の推進
- ・国際競争力のある研究の推進
- ・国際力豊かな人材の育成

を目標に据えている。

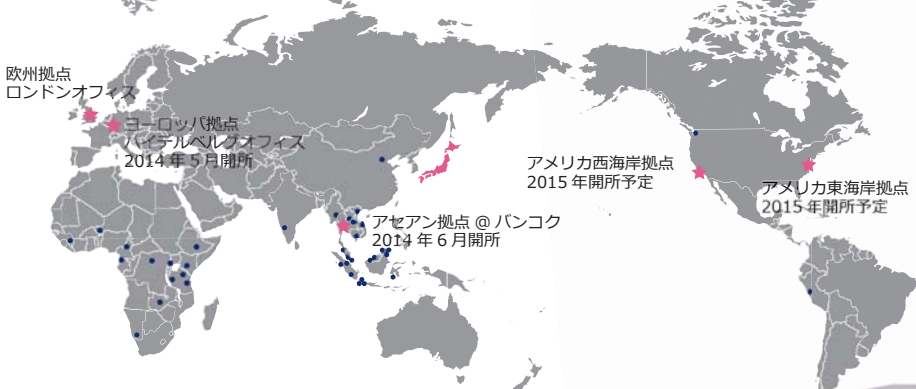


フロンティアを目指す - 戦略的支援から一歩先の研究へ

大学の国際化に向けた上記のミッションを一体的に手掛けるために、現在、海外拠点の運営と国際シンポジウムの開催を行っています。

海外拠点の設営・運営

京都大学は、各地域における研究活動・教育活動の支援、留学生の獲得、広報・社会連携・ネットワーク形成を目指して、世界 5 都市に海外拠点の設置を始めました。私たちはその立ち上げに関わるとともに、駐在して運営にも携わっています。拠点を通じて、**国際共同研究の創出、国際化に向けた学内の人材育成、研究成果の発信**を行っています。



国際シンポジウムの開催

- 海外の大学や研究機関と国際共同研究を推進する
- 多様な学術成果を広く世界へ発信することで、国際社会における本学のプレゼンスを高める

ことを目的として、海外の大学との全学的な共催シンポジウムを、年間数回開催しています。各シンポジウムでは、分野毎に 10 以上のセッションが同時進行で開催され、最先端の研究発表が行われます。シンポジウムを通じて、**国際共同研究の創出のきっかけづくり、研究成果の発信**を行っています。

2014年には、ブリストル大学 (1月 @ 京都)、ボルドー大学 (5月 @ ボルドー)、スウェーデン大学連合 (9月 @ ストックホルム)、国立台湾大学 (9月 @ 京都) との共催シンポジウムを開催しました。それぞれ、多岐にわたる分野の研究者が、両大学から約 100 名ずつ参加しました。



2014年5月 ボルドー大学にて